

日本包装専士会

2023年度第1回理事会資料
(会議後改訂)

—2023.7.18.開催—

議事録添付

議 題

- 1.各委員会からの報告
2. Hybrid会議について
会場候補と会議形態
3. 2023年度新入会員
4. 専士会セミナーについて方向性議論
—セミナー委員会

2023.7.26.改訂
今田克己

<メインディスカッション>

- (1) 委員会活動実績報告(2023.4月～6月)
- (2) 理事会(総会)の開催方式についての検討。
⇒理事会についてはHybrid(対面+Web)で行なう。
対面の場合、情報交換会の開催も検討する。事務局補佐(東京)を募集。
※理事会は原則奇数月の第3火曜日に開催することを継続する。
対面ハイブリッドでも踏襲する。開催時間は18時よりも前倒しすることも含めて検討する。
- (3) 2023年度包装技術セミナーの開催について方向性を検討／議論が必要。(セミナー委員会)

<継続検討事項>

- (4) 包装専士会理事会理事への就任、並びに委員会メンバーの参加基準や合意形成方法について、決める必要がある。(島田副会長)
⇒2023年度の理事会検討事項とする。(別添現状基準参照)
機密保持・守秘義務に関しては暫定的にルール化する
- ◇ お知らせページに掲載する記事を募集します。
些細なことでも結構ですので多くの情報提供をお願い致します。(具体的に)
情報システム委員会メンバーにメールにてご連絡ください。
 - ◇ 会則／役員選任規程の見直しをするかどうか(会則では2年に1回)
 - ◇ 役員の業務分担内容については2023年度も継続。

【事務局】 2023.7.1.改訂

リモートコミュニケーションの利点, 対面の強みの両方を生かし、専士会会員間コミュニケーションや理事会／委員会をHybridで開催する準備を進めている。9月より実施予定。

【展示委員会】 2023.7.4.追記なし

- ・10月頃に次回のTOKYO PACK 2024に向けての打合せを開催予定
(JPIによる展示募集は9月末からの予定)

【情報委員会】 2023.7.1.改訂

- ・(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」 6月号、7月号掲載終了。
- ・8月号は原稿確認作業終了、JPIへ入稿済み。

【情報システム委員会】

- ・ホームページ改訂

- ①お知らせページの表示が10件の為、過去のものも閲覧できるよう表示数を増やす。
2023年4月19日に改訂完了。年毎のタブを作成し過去の情報を閲覧できるようにした。
- ②議事録の日付がTOPページとMORE(すべて)ページで異なるため、開催日に統一する。
2023年4月12日に改訂完了。日付を開催日に統一。

【未来包装研究委員会】2023.7.2.改訂

- ・日本包装専士会の特別理事であり、未来包装研究院会のオブザーバーである有田先生が、WPO生涯包装功労賞ご受賞されたことを受け、公益社団法人 日本包装技術協会に、有田先生の特別講演会の企画を持ち掛けた。園山専務理事にご快諾いただき、主催:日本包装技術協会、共催:日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会、日本包装学会の形にて、7月6日(木)16:00より「包装界の未来に対する提言と今後への期待」と題して、特別講演会・懇親会(会費制)を開催し、約110名の方が集まった。
- ・定例会議は4～7月実施なし。8月以降に月1回開催に向け再起動します。

【関西委員会】2023.7.1.改訂

◇関西委員会理事会

- ・対面／Webのハイブリッド方式で理事会を5月25日に開催した。(Zoom)
場所:大阪市立青少年センター(新大阪) 802号室
- ・第2回以降の日程 7/20、9/20、11/15、2024年2/21の5回(見学会を含む)。

◇専士会関西ミニセミナー (新入会員にはWeb参加招待)

- ・2023年度第1回開催 ハイブリッド(Zoom)にて開催した。
講師 : 今田克己
テーマ: 「Film Cleaning」 「Preform 殺菌式無菌充填システム」
- ・次回7月20日第2回開催 ハイブリッド(Zoom)にて開催予定。
講師 : 平田達也
テーマ: 「軟包装シリーズ:軟包装ができるまで(印刷・ラミ・スリット・製袋)」
- ・次々回9月22日 会社工場見学会 (9/20を変更)
「太陽ファルマテック(株)大阪高槻工場」 見学

◇情報交換会

- ・対面参加者6名(関西委員会7名)参加で情報交換交流会を行なった。(5/25)

【セミナー委員会】

6月1日にセミナー委員で対面打合せを実施、今後の活動について意見を交わした。以前は、アカデミーキャンパス／包装技術セミナーとして2回／年のセミナーを開催し、包装業界へ専士会の存在アピールと会の収支に貢献をしてきた。近年、未来包装研究委員会が発足した結果、業界への存在アピールは未来研が行っている為、外部向けのセミナーを開催する必要も無くなり、セミナー委員会の存在意義について討議した。

<委員会意見>

他の団体と同じようなセミナーを開催しても、差別化が図れない、専士会の独自性は。セミナー開催の仕事量の割には委員会及び専士会へのフィードバックが少ない
昨年本年と新規入会の数が増えている→初年度年会費無料の効果？
包装専士会が期待される活動とは？
新規で専士会入会する人が何を望んでいるのか？→人財交流ではないか。
新規会員を退会させない為には何をすべきか？

<今後の活動方針>

活動を専士会内に向けた形に変更し、専士会会員サービスを促進する。具体的には、先ず近年(3年程度)の新規会員に対して対面での包装専士会活動についての説明会を実施、参加者が業務として参加し易いように未来包装研究委員会の協力を得て、未来研の内容セミナー(30分程度)を開催(上期中)。下期にもう一度、何等か開催。
来年度以降は新規会員を総会に招待、懇親会の実施も検討。その他、専士会内交流を図る提案会／座談会などの企画検討も行う。

(1) 対面会場

2023.7.18.改訂

① 中央区京橋区民会館（コロナ前も使用） 03-3561-6340

利用費は、夜間／2,600円 or 3,100円。

Web環境については、WIFIルーターの貸出しあり。（早い者勝ち）

※次回9月19日、午後と夜間で会場確保する。WIFIルーター貸予約していく。（事務局）

室名	広さ	定員	使用料			
			午前	午後	夜間	全日
1号室 洋室	74.4㎡	48名	1,900	2,500	3,100	6,800
2号室 洋室	43.2	30名	1,100	1,500	1,900	4,100
3号室 洋室	46.1	30名	1,600	2,100	2,600	5,700

<https://www.city.chuo.lg.jp/sisetugaido/syukaisisetu/syukaisisetu01.html>

② 三菱商事パッケージング セミナールーム（島田賢一副会長）

日本橋オフィスのセミナールームが空いていれば、利用可能。

18:30までに終了（最悪でも19:00撤収完了のこと。（清掃のため）

最大収容は80名ですが、20名程度の会議にも無理なく使えます。

ご好意で無料で使用できます。

(1) 対面会場候補

2023.6.30.

- ① 中央区京橋区民会館（コロナ前の使用） 03-3561-6340
利用費は、夜間／2,600円 or 3,100円。
Web環境については、WIFIルーターの貸出しあり。（早い者勝ち）

貸出施設 : <予約・問合せ>の施設 各1台 京橋区民館 ☎ 3561-6340)

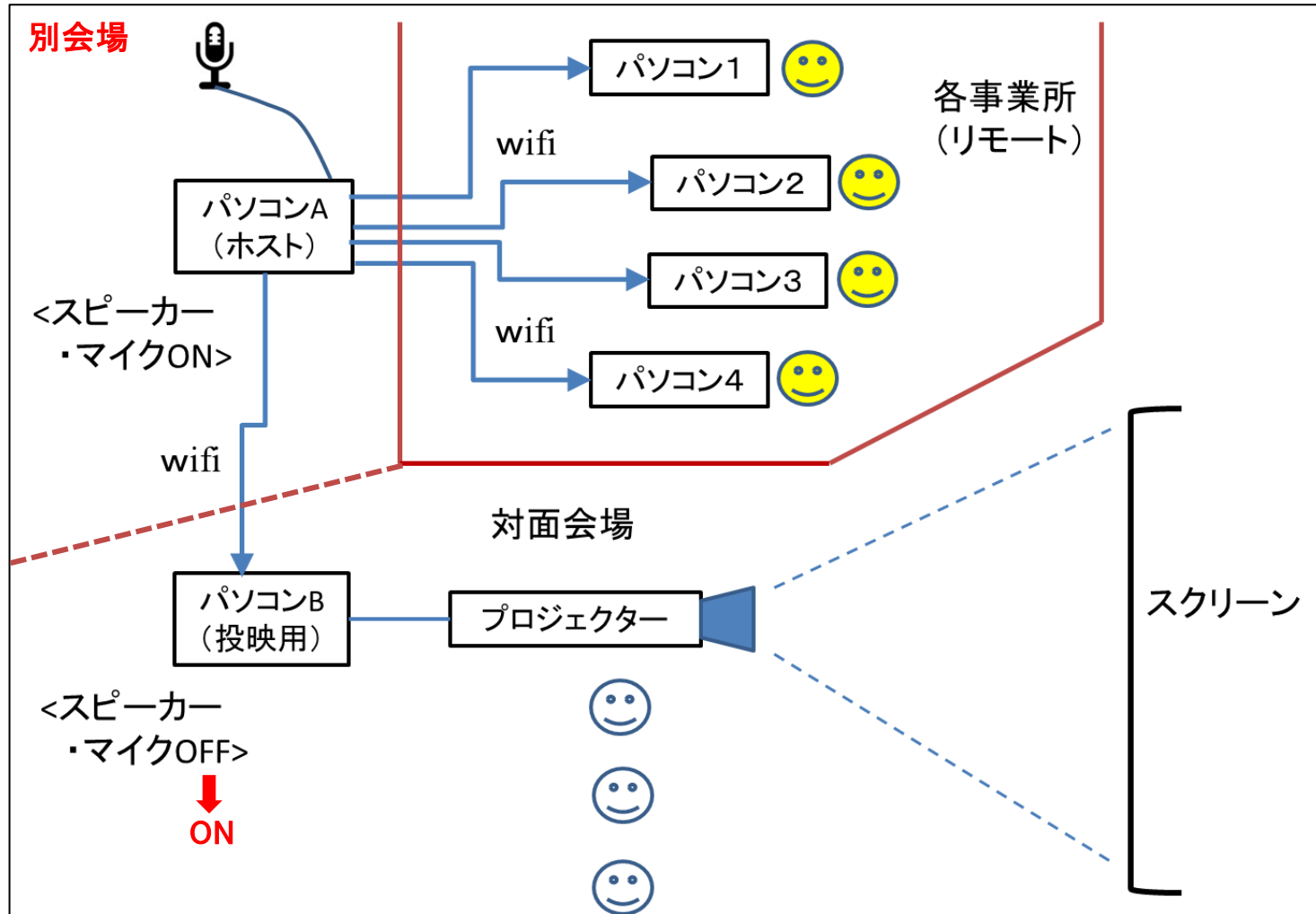
利用料 : 無料

貸出方法 : 先着順
お電話または直接、受付にお申し付けください。
集会室の予約が取れた後にご連絡ください。
抽選申込み中は、予約はお受けできません。

貸出機種 : NTTドコモ home 5G HR01
※通信状況により活動内容に支障をきたす場合でも 責任は負いかねますので、
あらかじめご了承のうえ、お申し込みください

(1) Hybrid Communication

2023.6.30.



- ①対面会場のパソコンA(Web会議ホスト)と会場のパソコンBおよび各事業所Web参加のパソコンでWeb環境を立ち上げ、パソコンBをプロジェクターに接続し、スクリーンに画面を投映する。
- ②対面会場ではハウリング防止のため、ホスト(パソコン)のみマイクONにすること。

日本包装専士会の会員増強

2023.7.12.

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
会員在籍数	180	168	156	149	149	149
継続会員数	165	152	142	132	130	123
新規入会 (無料入会)	6	5	4	8	8 (6)	14 (13)
休会(2年間)	9	11	10	9	11	12
退会	5	17	16	15	8	5

各年度3月末時点、 2023年度6月末時点
会員在籍数＝継続会員数＋新規＋休会数

－新規会員リクルート(方針)－

1. JPIの専士講座修了式に出席して修了者への直接の説明が重要。
修了式およびその後に修了者と専士会代表のコミュニケーションをはかる。
2. 新規修了者入会の動機付けとして初年度の費用(入会費、年会費)を無料とする。
修了年次の6月末までを無料入会期限とする。7月以降の入会は通常扱い。
3. 関西委員会のミニセミナーでWeb開催の場合、新規入会者に開催案内を送り、
専士会とコミュニケーションをはかる。(2022年11月より開始)
4. 特に、ホームページが魅力ある、検索しやすい内容として、活動や情報を発信、
共有することが重要となる。(情報システム委員会)

無断転用を禁ず

2023年度新入会員

2023.7.1.現在

No.	氏名	コース	期	会社名	部署名	住所
1	三輪亮治	包装材料	35	睦化学工業(株)	品質管理部	〒452-0846 愛知県名古屋市西区浮野町144
		2022年度	06			
2	李 陽	輸送包装	35	ブリジストンサイクル(株)	完成車設計開発部	〒3628520 埼玉県上尾市中妻3-1-1
		2021年度	005			
3	持丸 智英	包装材料	35	ネスレ日本(株)	霞ヶ浦工場 包装サービス課	〒300-0622 茨城県稲敷市神宮寺字迎山1751
		2022年度	08			
4	矢田修一郎	輸送包装	35	(株)サンリツ	事業戦略部	〒221-0024 神奈川県横浜市 神奈川区恵比須町1-1 サンリツ京浜事業所 2F
	1432	2022年度				
5	佐藤 剛	包装材料	35	ライオン(株)	パッケージ 開発研究所	〒132-0035 東京都江戸川区平井7-2-1 東京都江戸川区平井7-2-1
	1459	2022年度	11			
6	金子 麻美	食品包装	36	三菱商事パッケージング(株)	営業本部 営業第三部	〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-10
		2022年度	09			
7	高橋 宏彰	食品包装	36	味の素AGF(株)	包材開発部 包材開発グループ	〒151-8551 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル9F
		2022年度	05			
8	齋藤 祐一	医薬品包装	34	シミックCMO(株)	足利工場 技術部	〒326-0324 栃木県足利市久保田町588-3
		2022年度	03			
9	村井 威仁	包装材料	35	フジテクノ(株)	技術・開発部	〒143-0024 東京都大田区中央2-5-1
		2022年度	12			
10	麻生 知里	食品包装	36	出光ユニテック株式会社	商品開発センター 第一開発課	〒2990205 千葉県袖ヶ浦市上泉1660
		2022年度	08			
11	新井光志郎	食品包装	36	株式会社細川洋行	営業本部	〒1020084 東京都千代田区二番町11-5
		2022年度	08			
12	森岡麻由子	医薬品包装	34	太陽ファルマテック(株)	高槻工場 技術部 技術課	〒569-0806 大阪府高槻市明田町4-38
		2022年度	02			
13	加藤 祐一	医薬品包装	34	佐藤製薬株式会社	八王子工場 第一包装課	〒193-0941 東京都八王子市狭間町1468
		2022年度	09			

※通常入会希望者(ホームページからの申込)

No.	氏名	コース	期	会社名	部署名	住所
1	濱西 陽介	医薬品包装	32	岡田紙業(株)	東京支店営業課	〒103-0021 東京都中央区 日本橋本石町3-1-2 FORECAST新常盤橋8F
		2019年度	11			

無断転用を禁ず

2022.3.専士講座修了者の入会

2023.7.1.現在

氏名	コース	所属会社	部署	勤務所在地
矢島翔吾	食品包装	(株)タチバナ・インダストリーズ	営業開発部開発課	東京都
葛西知宏	食品包装	メビウス・パッケージング(株)	開発技術部	横浜市
大原菜桜子	食品包装	大和製罐(株)	マーケティング部	相模原市
松井幸一郎	食品包装	オハヨー乳業(株)	マーケティング戦略本部 研究開発部	岡山市
中山隆司 2023年度退会	医薬品包装	(株)ツムラ	生産本部 生産技術セン ター 技術開発部	茨城 稲敷郡
平塚正彰	包装材料	日本パッケージング(株)	品質管理部 品質管理課	幸手市

※2021年度専士講座修了者は23名。

JPI「包装技術」掲載計画案 2023年度

2023年

情報委員会

包装技術 (初旬発行)	原稿締切 (完成原稿)	内容案	原稿依頼先	備考
7月号	5月末	日本包装専士会2023年度活動計画	事務局・会長	6/1 JPI送付
8月号	6月末	日本包装専士会 関西委員会活動報告	関西委員会	7/4 JPI送付
9月号	7月末	日本包装専士会 セミナー案内	セミナー委員会	8/4JPI送付
10月号	8月末	日本包装専士会紹介		9/1JPI送付
11月号	9月末	日本包装専士会 セミナー委員会活動報告	未来包装研究委員会 &セミナー委員会	10/5JPI送付
12月号	10月末			11/8JPI送付
1月号	11月末			12/6JPI送付
2月号	12月末			12/27JPI送付
3月号	1月23日			2/2JPI送付
4月号	2月20日			3/2JPI送付
5月号	3月20日			3/27JPI送付
6月号	4月20日			—

2022年

包装技術 (初旬発行)	原稿締切 (完成原稿)	内容案	原稿依頼先	備考
7月号	5月末	専士会新組織と委員会の概要紹介	情報委員会	6/10最終原稿修正
8月号	6月末	2委員会紹介 東京パック2022 予告含む	未来包装研究委員会 展示委員会	7/11JPI送付
9月号	7月末	東京パック2022 専士会展示情報	展示委員会	8/4JPI送付
10月号	8月末	東京パック2022 専士会展示情報	未来包装研究委員会	9/1JPI送付
11月号	9月末	委員会紹介ミニセミナー見学会 資生堂大阪茨木工場9/28	関西委員会	10/5JPI送付
12月号	10月末	東京パック2022報告	未来包装研究委員会 展示委員会	11/8JPI送付
1月号	11月末	Next Package展「未来包装予測」 出展報告	及川委員長 セミナー委員会	12/6JPI送付
2月号	12月末	専士会ホームページ 一般向け内容の紹介	情報システム委員会	12/27JPI送付
3月号	1月23日	CLOMA技術セミナー講演 「より良い包装未来の姿と生活者起点の協業・協働 について」	未来包装研究委員会	2/2JPI送付
4月号	2月20日	日本包装専士会紹介	事務局	3/2JPI送付
5月号	3月20日	専士会2022年度活動報告と会長挨拶	日本包装専士会会長 & 事務局	3/27JPI送付
6月号	4月20日	日本包装専士会紹介 (4月号と同原稿)	事務局	—

会則第7条) 理事会は会長、副会長、事務局長、事務局次長、理事を以て構成する。理事会は委員会を設立し、委員会をもって運営される。各委員会は委員長、副委員長、会計、委員を置き、理事及び会員から選任される。

会則第8条) 本会は次の役員を置く 会長 1名、副会長 各コースより1名、事務局長 1名、事務局次長 1名、理事 若干名、監事 2名、相談役 若干名、顧問 若干名
役員選出規程) 理事は各コース内部の独自の役員会等で選出し、理事会、総会の承認を得て、正式に就任する。

役職	候補選出・資格	承認	任期 (再任可)
会長	副会長の互選	理事会→総会	1期2年
	理事会による推薦者 (理事2期4年以上)	理事の1/3以上 複数の場合、1/2以上	
	副会長経験者		
副会長	各コースの会合で選出、承認	理事会→総会	1期2年
委員長	副会長は委員長を兼任	理事会→総会	1年
理事	各コースの役員会等で選出	理事会→総会	2期4年
事務局長	理事の1/3以上で推薦	理事の1/2	—
事務局次長	事務局長が1名指名	理事会の承認	—
事務局補佐	事務局長が1～2名指名	理事会の承認	—
委員	なし		—

日本包装専士会 機密保持内規
(2023年度暫定措置)

2023.3.28.

継続検討

Confidential

(今田私案)

包装専士会は最新かつグローバルな情報やデータを入手し、それらをトレンドで探求することにより、包装資源循環のあり方や包装の未来を予測／提案するもので、機密保持が要求される。従って理事会・委員会が機密保持を徹底するため、以下の内規を制定する。

- ◇ 日本包装専士会で検討し、作成した資料やパネル、データについては情報入手元の許可を得たものと得ていないものが存在するが、両者について、原則、第三者への提供は禁止する。
(所属会社、上司への報告内容も外部への流出に要注意)
- ◇ 所属会社への報告には著作権に抵触しない表現での文章で行なう事を基本とする。文書は社内限定であっても、万一外部へ流出し、著作権等に触れた場合、日本包装専士会は一切関知しない。
- ◇ 当会で作成した資料、データを外部へ提供する場合、または、その可能性がある場合、事前に担当委員会委員長、日本包装専士会会長の許可を得る事とする。
外部への提供とは展示会でのパネル掲示、講演の映像(パワーポイント等)も含まれる。